

株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座 口座管理機関	
同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂7丁目10番11号 TEL 0120-232-711 (通話料無料)
上場証券取引所	東京・名古屋（市場第1部）
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL http://www.shiroki.co.jp/ (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

【お知らせ】

株券電子化によるご注意

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種のお手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることになっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。
- 株券電子化により、株主様のお名前などに(株)証券保管振替機構で指定されていない文字が含まれる場合は、通知物の宛名の一部又は全部が同社の指定する文字に置き換えられることがありますので、予めご了承ください。



取締役社長

伊地知舜一郎

インドでは、現地自動車部品メーカーのテクニコ インダストリーズ株式会社（ハリアナ州）への追加出資を決定し、得意先自動車メーカーの現地生産拡大に対応する基盤強化に取り組んでまいりました。

このような取り組みを進めてまいりましたが、経営環境は大変厳しく、当期の当社グループの業績につきましては、得意先自動車メーカーの想定を超えた大幅な減産により、売上高は1,234億2千5百万円（前期比14.0%減）となり、損益につきましては、生産体制の見直しや緊急収支改善などのコスト削減活動に全力をあげて取り組んだものの、営業損失は3千1百万円（前期は営業利益50億5千8百万円）、また経常損失は7億7千3百万円（前期は経常利益39億3千1百万円）となり、当期純損失は21億9千万円（前期は当期純利益29億7百万円）となりました。

対処すべき課題

今後の見通しにつきましては、引き続き世界的な景気減速による市場環境の悪化で、日米欧の先進国を中心に自動車販売の回復には時間を要するものと予想されます。特に米国においては、米国自動車メーカーの大幅減産は来期も継続すると予想され、米国子会社のシロキノースアメリカ株式会社は財務体質強化のため、6月に2,000万米ドルの資本増強を計画しております。当社グループといたしましては、「新中期経営計画」を加速するとともに、さらなる生産体制の見直しや一層の原価低減に努め、国内売上高800億円でも利益の出せる体制づくりを進めてまいります。

製品開発におきましては、共通化とシステム化によりコスト低減を進めるとともに、軽量化による省エネをはかった新製品開発に注力してまいります。またグローバル化への対応につきましては、アジアを中心に今後も成長が見込める市場での受注体制の整備・強化を進めてまいります。さらに、生産分野におきましては、生産ラインの恒常的な1直稼働化を目指した「モノづくり改革」を加速するとともに、より一層の生産の高効率化を進め、シャープでスリムな生産体制構築に取り組んでまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも格別のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成21年6月

株主の皆様へ

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

当社グループの第92期（平成20年4月1日から平成21年3月31日まで）の営業を終了いたしましたので、その概要につきましてご報告申し上げます。

当期における自動車業界は、米国のサブプライムローン問題に端を発した金融市場の混乱により、世界経済は大幅に減速し、特に日米欧の先進国では高級車、大型車を中心にほとんどのセグメントにおいて販売台数が急減いたしました。また、中国やインドなどの成長著しい新興国においても、販売台数に陰りが見られるようになりました。特に日本と米国を中心に期後半は、急速に進む世界的な販売不振を背景に、得意先自動車メーカーの在庫調整による想定を超えた大幅な減産に直面することとなりました。

こうした市場環境の急変に対応するため、当社グループでは、喫緊の課題として、生産の減少に合わせ、生産稼働日の調整や勤務形態の見直し、生産人員の縮小、生産ラインの1直稼働化への切り替えなど、全社的な生産調整に踏み切り、さらには役員報酬や管理職給与の削減を行うなど、全社をあげて聖域なきコスト削減に取り組んでまいりました。

また同時に、中長期経営基盤確立に向けた、「新中期経営計画 シロキビジョン2012」をスタートさせ、①シャープでスリムな生産体制の構築（国内生産減への対応）、②技術力による製品付加価値の引上げ（製品競争力強化）、③新生産方式の開発・導入（コスト競争力強化）を重点施策の柱に取り組んでまいりました。

■国内事業■

新製品開発におきまして、「小型・軽量化」を基本コンセプトに、世界最軽量のウインドレギュレータをトヨタ自動車株式会社と共同開発し、超小型車「iQ（アイキュー）」に採用されました。これは従来製品に対して60%もの軽量化を達成したもので、今までにない画期的な製品として高い評価を頂きました。

■海外事業■

米国では、シロキノースアメリカ株式会社（テネシー州）が、当社グループ最大の海外生産拠点として、北米3拠点の立地を生かした拡販に努めてまいりましたが、米国経済の減速に伴う得意先自動車メーカーからの大幅な受注減により、大幅な減産を余儀なくされました。

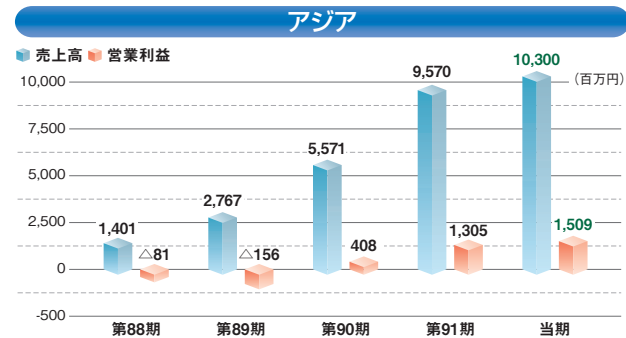
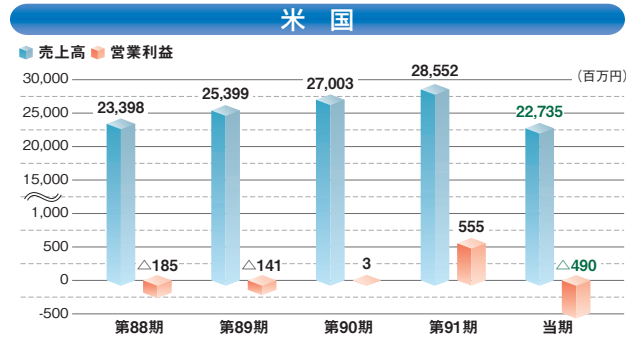
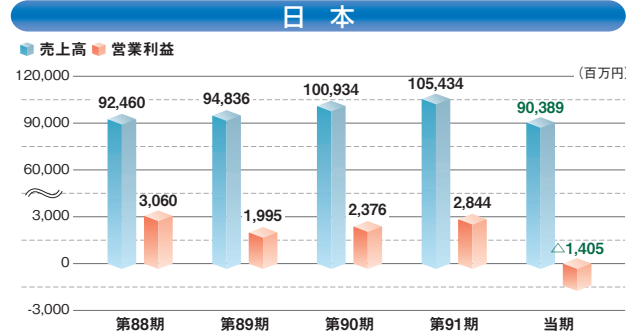
中国では、広州白木汽车零部件有限公司（広州市）が現地のトヨタ自動車株式会社および日産自動車株式会社の新型車向けに、ドアサッシなどの新規受注品の生産を開始し、拡販と生産拡大に努め、好調に推移いたしました。

タイでは、シロキタイランド株式会社（チョンブリ県）が昨年5月より、これまでのウインドレギュレータとドアサッシに加え、新たに自動車用シートのスライドロックに使うユニット部品の現地生産を開始し、生産品目の拡大に取り組み、堅調に推移いたしました。

国内事業

自動車販売の低迷に加えて、輸出不振による得意先自動車メーカーの生産調整の影響により、売上高は前期比14.3%減の903億8千9百万円で150億4千5百万円の減収となり、営業損失は14億5百万円（前期は営業利益28億4千4百万円）となりました。

[所在地別セグメント情報]



海外事業

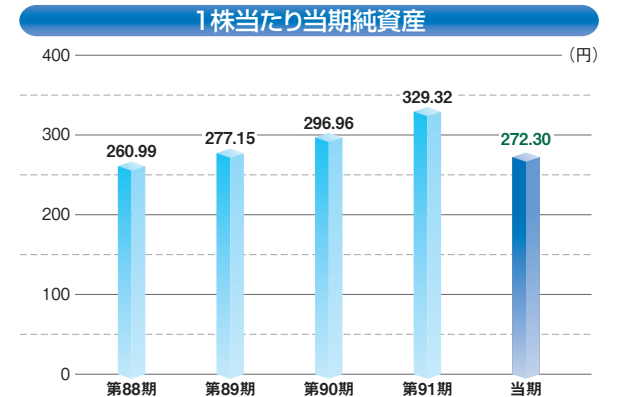
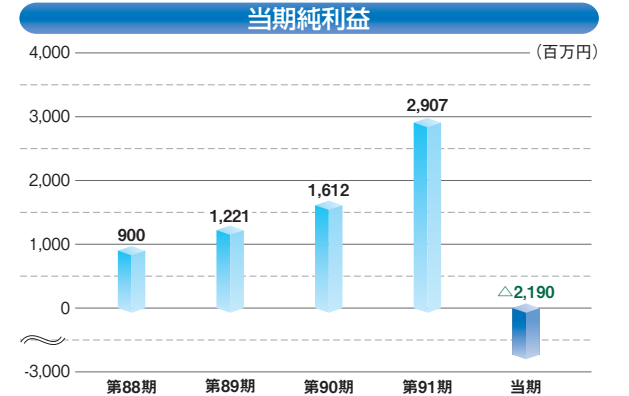
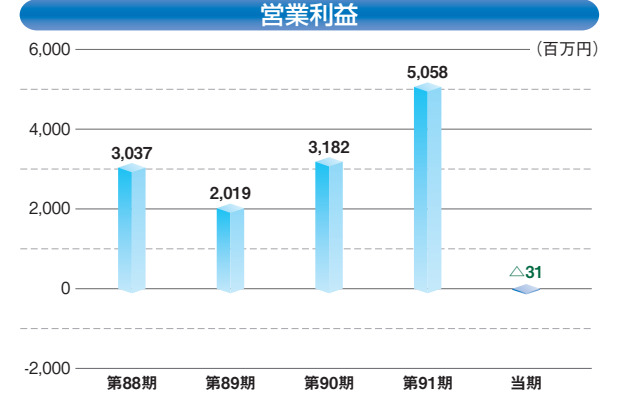
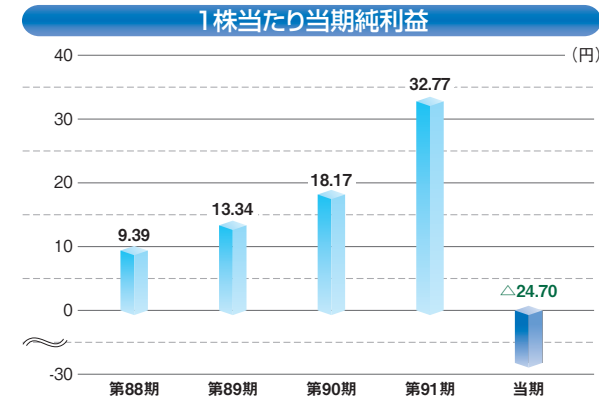
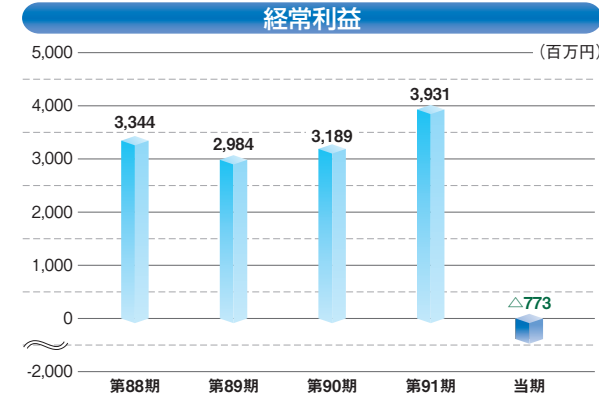
米国

自動車販売の不振による生産減と為替換算レートの影響により、売上高は前期比20.4%減の227億3千5百万円で58億1千7百万円の減収となり、営業損失は4億9千万円（前期は営業利益5億5千5百万円）となりました。

アジア

成長に一部鈍化がみられたものの堅調に推移し、新規受注品による生産増加などが加わり、売上高は前期比7.6%増の103億円で7億3千万円の増収となり、営業利益は15億9百万円（前期は営業利益13億5百万円）となりました。

[連結財務指標]



(注) △は損失を示しております。

連結貸借対照表

(単位：百万円未満切り捨て)

	〔当期〕 (平成21年3月31日)	〔前期〕 (平成20年3月31日)		〔当期〕 (平成21年3月31日)	〔前期〕 (平成20年3月31日)
	資産の部			負債の部	
流動資産	33,854	42,112	流動負債	29,853	33,034
現金及び預金	12,714	8,517	支払手形及び買掛金	14,273	23,130
受取手形及び売掛金	15,462	25,010	短期借入金	6,183	1,483
リース投資資産	8	—	1年内返済予定の長期借入金	3,070	434
たな卸資産	—	4,000	リース債務	60	—
商品及び製品	1,023	—	未払金	582	670
仕掛品	802	—	未払消費税等	72	274
原材料及び貯蔵品	1,635	—	未払法人税等	73	318
前払費用	148	163	未払費用	1,909	2,430
繰延税金資産	28	707	賞与引当金	861	1,309
未収入金	1,130	2,149	役員賞与引当金	2	63
その他	901	1,564	設備関係支払手形	20	16
貸倒引当金	△1	△2	設備関係未払金	2,161	2,004
固定資産	41,961	44,407	繰延税金負債	9	—
有形固定資産	34,607	36,677	その他	572	898
建物及び構築物(純額)	6,844	7,839	固定負債	21,686	24,156
機械装置及び運搬具(純額)	18,977	19,328	長期借入金	14,359	17,175
工具、器具及び備品(純額)	4,462	4,668	リース債務	218	—
土地	3,066	3,164	退職給付引当金	6,362	5,950
リース資産(純額)	258	—	役員退職慰労引当金	53	89
建設仮勘定	998	1,677	繰延税金負債	7	29
無形固定資産	528	687	長期未払金	681	905
ソフトウェア	496	656	その他	3	5
その他	31	30	負債合計	51,539	57,190
投資その他の資産	6,825	7,042	純資産の部		
投資有価証券	808	1,176	株主資本	25,453	28,051
長期貸付金	131	203	資本金	7,460	7,460
繰延税金資産	5,236	5,196	資本剰余金	9,699	9,699
その他	679	496	利益剰余金	8,394	10,983
貸倒引当金	△30	△30	自己株式	△99	△91
資産合計	75,815	86,519	評価・換算差額等	△1,313	1,153
			その他有価証券評価差額金	58	227
			為替換算調整勘定	△1,371	926
			少数株主持分	135	122
			純資産合計	24,276	29,328
			負債純資産合計	75,815	86,519

連結株主資本等変動計算書(要旨) (平成20年4月1日から平成21年3月31日まで)

(単位：百万円未満切り捨て)

	株主資本					評価・換算差額等 評価・換算差額等合計	少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計			
平成20年3月31日残高	7,460	9,699	10,983	△91	28,051	1,153	122	29,328
連結会計年度中の変動額								
剰余金の配当	—	—	△399	—	△399	—	—	△399
当期純損失	—	—	△2,190	—	△2,190	—	—	△2,190
自己株式の取得	—	—	—	△7	△7	—	—	△7
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額(純額)	—	—	—	—	—	△2,467	12	△2,454
連結会計年度中の変動額合計	—	—	△2,589	△7	△2,597	△2,467	12	△5,052
平成21年3月31日残高	7,460	9,699	8,394	△99	25,453	△1,313	135	24,276

連結損益計算書

(単位：百万円未満切り捨て)

	〔当期〕 (自平成20年4月1日 至平成21年3月31日)	〔前期〕 (自平成19年4月1日 至平成20年3月31日)
	売上高	123,425
売上原価	112,458	127,025
売上総利益	10,966	16,532
販売費及び一般管理費	10,997	11,473
営業利益又は営業損失(△)	△31	5,058
営業外収益	516	483
受取利息	64	93
受取配当金	21	21
持分法による投資利益	—	81
固定資産売却益	249	22
受取ロイヤリティー	65	64
部品開発委託料	61	138
その他	54	61
営業外費用	1,258	1,609
支払利息	457	508
為替差損	596	975
持分法による投資損失	147	—
その他	56	125
経常利益又は経常損失(△)	△773	3,931
特別利益	198	119
貸倒引当金戻入額	0	29
製品補償費戻入益	—	35
助成金収入	152	—
受取補償金	—	43
固定資産売却益	40	—
その他	4	10
特別損失	630	536
固定資産除却損	445	437
固定資産売却損	9	11
減損損失	66	54
投資有価証券評価損	85	—
その他	23	33
税金等調整前当期純利益 又は税金等調整前当期純損失(△)	△1,205	3,514
法人税、住民税及び事業税	216	347
法人税等調整額	719	212
少数株主利益	48	46
当期純利益又は当期純損失(△)	△2,190	2,907

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

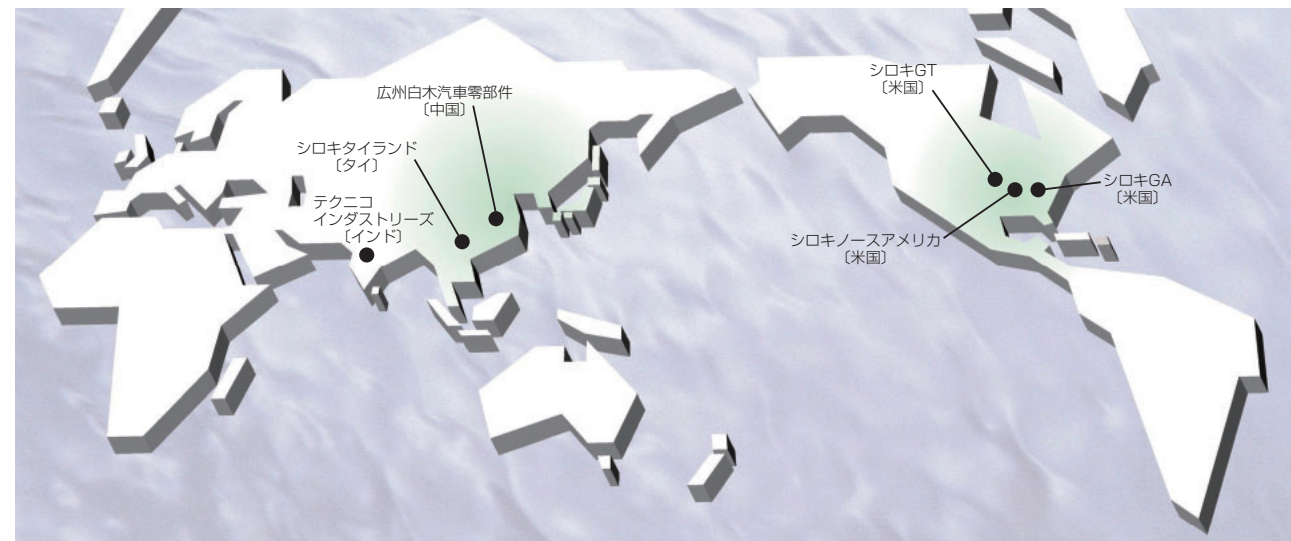
(単位：百万円未満切り捨て)

	〔当期〕 (自平成20年4月1日 至平成21年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,192
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,692
財務活動によるキャッシュ・フロー	4,473
現金及び現金同等物に係る換算差額	△777
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	4,196
現金及び現金同等物の期首残高	8,517
現金及び現金同等物の期末残高	12,714

会社概要 (平成21年6月25日現在)

本 社	〒442-8501 愛知県豊川市千両町下野市場35-1 TEL 0533-84-4691 (代)
設 立	昭和21年3月
資 本 金	74億6千万円
事 業 内 容	自動車部品の製造、販売 鉄道車輛用シートの製造、販売

グローバルネットワーク



株式の状況 (平成21年3月31日現在)

発行可能株式総数	200,000,000株
発行済株式の総数	89,003,624株
株主数	6,440名

大株主 (上位10名)

株 主 名	持株数(株)	持株比率(%)
東 京 急 行 電 鉄 株 式 会 社	25,422,316	28.56
ト ヨ タ 自 動 車 株 式 会 社	15,067,851	16.93
三 菱 U F J 信 託 銀 行 株 式 会 社	3,559,000	4.00
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	3,113,000	3.50
ユービーエス エージー ロンドン アカウント アイビービー セグリゲイテッド クライアント アカウント	2,622,000	2.95
株 式 会 社 豊 栄 商 会	2,263,000	2.54
シ ロ キ 工 業 持 株 協 力 会	2,123,759	2.39
日 本 生 命 保 険 相 互 会 社	1,920,197	2.16
バークレイズバンクビーエルシー バークレイズキャピタルセキュリティーズ	1,864,000	2.09
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口 4G)	1,735,000	1.95

役員の状況 (平成21年6月25日現在)

代表取締役社長	伊地知 舜一郎	取 締 役	堤 泰 久
代表取締役専務	橋 間 義 郎	取 締 役	八 代 昭 彦
専 務 取 締 役	杉 山 森 夫	取 締 役	上 條 清 文
専 務 取 締 役	後 藤 和 行	取 締 役	鈴 木 克 久
常 務 取 締 役	小 橋 賢 司	常 勤 監 査 役	古 川 俊 雄
常 務 取 締 役	大 石 勝 美	常 勤 監 査 役	大 橋 敦 志
取 締 役	河 本 正	監 査 役	白 根 武 史
取 締 役	坂 部 威 夫	監 査 役	岩 田 哲 夫
取 締 役	森 田 隆 信		

(注) 1. 取締役のうち、上條清文および鈴木克久の両氏は、社外取締役であります。
2. 監査役のうち、古川俊雄、白根武史および岩田哲夫の各氏は、社外監査役であります。

